

会議顛末書

						記 録 者	副主幹	石川 純
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 査 係 長	グループ員
件 名	令和7年度第2回次長会議							
年 月 日	令和7年5月26日（月）							
時 間	午前10時～午前11時20分							
場 所	5階第1委員会室							
欠 席 者	なし							
内 容	【付議事項】 1 まちづくりポイント制度の見直しについて 資料に基づき地域づくり推進課より説明 《主な意見・質疑等》 ・ デジタル化には賛成だが、高齢者の参加が多い状況を踏まえると、これまでのアナログとの併用とするか、一定の移行期間を設けた上でデジタルのみの形にした方が良い。 ・ デジタル化することで若い世代が参加するきっかけとなれば良い。将来的に市民活動だけでなく、地域イベントなど、まちづくり全体につなげていくことも検討してもらいたい。 ・ デジタル化することで、データ分析が容易になり、活動内容等の検討や見直しに活用できる。 ・ デジタル化することで、実際にどの程度経費が掛かるのか、利用率はどの位になるのかといったところが不透明な部分がある。スモールスタートで徐々に広げていくのは良いのではないか。 ・ 学校を通じたポイントの付与もある。学校にスマートフォンを持ち込むことは原則できないため、そうした場合の取扱いについて整理しておく必要がある。 ・ 市民協働推進委員会では、見直しについてどのような意見が出ているのか。 ⇒ デジタル化に賛成する意見が多い。 ・ ポイント利用の期限を無期限としているが、過去のポイントが永久に残ってしまうことが考えられる。一定期間で無効とした方が管理しやすいのではないか。 2 農業公園豊作村施設運営にかかる基本方針について 資料に基づき農業政策課より説明 《主な意見・質疑等》 ・ 経費を抑制しながらリニューアルを検討していかなければならないが、担当課としては、どのような方向性が良いと考えているか。 ⇒ 他自治体の事例を調査した中では、千葉県香取市の農業・アウトドアをメインとした公園が好事例であった。民間事業者が運営しており、食と農をテーマに人を呼び込むことにも成功している。 ・ 農業公園豊作村が目指す公園像について、農業をテーマとすることは変わらないという理解で良いか。 ⇒ これまで行ったサウンディング型市場調査では、農業がテーマであることを前							

	提としていた。担当としては、農業公園を基本に、こういったコンテンツを加えて人を呼び込んでいくかという視点で検討している。 ・ 花木鑑賞をメインとした公園についても、魅力的なコンテンツではあるが、花木の管理にも相応の経費が必要であり、年間を通じて花木鑑賞ができるようにするのは難しい。例えば、桜を植えるというのも一つの案ではあるが、その場合、春は良いが秋はどうするのかといった課題が出る。 ・ 民間事業者へのヒアリングは、サウンディング型市場調査を再度行うのか。 ⇒ サウンディングではなく、農業をテーマとした事業展開をしている事業者に対して、個別にヒアリングをしていきたいと考えている。 【その他】 総合政策部次長より、令和6年度事業実績データ集の作成・公表について、企画課から各次長へ依頼文を発出しているが、改めて、6月末までの公表をお願いしたい旨依頼があった。		
要 措 置 事 項			
情 報 公 開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	
		公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	